

利用上の注意

平成16年鉱工業生産及び生産者製品在庫の動きについては、次の事項に従って作成していますので、本書を利用される際はご注意ください。

1 指数の種類、基準時、ウェイトの算定基準等

- (1) 指数の種類.....生産指数及び生産者製品在庫指数
- (2) 基準時.....平成12年(2000年)
- (3) ウェイト算定基準.....生産指数は基準時付加価値額、生産者製品在庫指数は基準時平均在庫額
- (4) 指数値の計算.....暦年別、四半期別及び月別、業種別及び特殊分類
なお、四半期の1期とは1月～3月期、2期とは4月～6月期、3期とは7月～9月期、4期とは10月～12月期のことです。
分類については次のとおりです。なお、鉱工業指数の算出にあたっては、業種分類中、電力・ガス事業は用いず、参考系列としています。

2 分類

分類は、日本標準産業分類に準拠した「業種分類」と、品目の経済的用途に着目した「特殊分類」の2つの分類を設けました。

それぞれの内容は次のとおりです。

(1) 業種分類

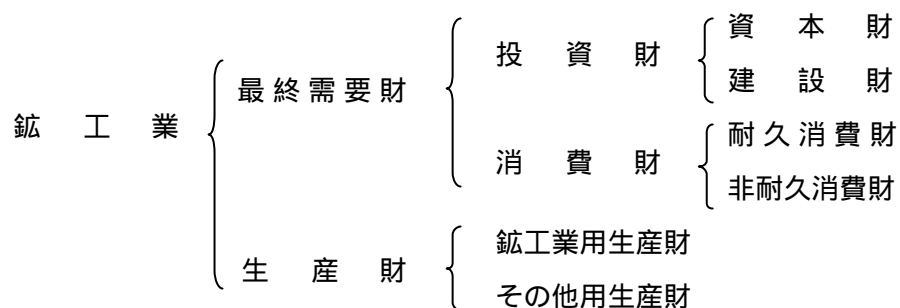
- 1) 業種分類については、県内における製造業の形態、業界通念、利用上の便宜等を考慮して、日本標準産業分類の一部組替えを行いました。その内容は次のとおりです。
 - a) 17-化学工業のうち174-化学繊維製造業以外を「化学工業」としました。
 - b) 11-繊維工業、12-衣服・その他の繊維製品製造業、17-化学工業に分類される174-化学繊維製造業を合わせて「繊維工業」としました。
 - c) 14-家具・装備品製造業のうち家具製造業以外については製造工業全体で代表させました。
 - d) 16-印刷・同関連産業、21-なめし革・同製品・毛皮製造業、31-精密機械器具製造業、32-その他の製造業に分類される328-武器製造業は非採用とし、製造工業全体で代表させました。
- 2) 電気機械工業(旧分類)は「電気機械工業」「情報通信機械工業」「電子部品・デバイス工業」に分類されました。
ただし、在庫指数については各業種における品目が少ないため、分類せずに「電気機械工業(旧分類)」のみとしました。
- 3) 「ゴム製品工業」「家具工業」「木材・木製品工業」「その他製品工業」を合わせて、「その他工業」を設けました。
- 4) 「鉱業」は日本標準産業分類では大分類ですが、ウェイトが小さいので、1つの業種分類としました。

これにより、当県における業種分類は次のとおりです。

鉱 業
 製 造 工 業
 鉄 鋼 業
 非 鉄 金 属 工 業
 金 属 製 品 工 業
 一 般 機 械 工 業
 電 気 機 械 工 業 (旧分類)
 電 気 機 械 工 業
 情 報 通 信 機 械 工 業
 電 子 部 品 ・ デ バ イ ス 工 業
 輸 送 機 械 工 業
 窯 業 ・ 土 石 製 品 工 業
 化 学 工 業
 石 油 ・ 石 炭 製 品 工 業
 プ ラ ス チ ッ ク 製 品 工 業
 パ ル プ ・ 紙 ・ 紙 加 工 品 工 業
 織 維 工 業
 食 料 品 工 業
 そ の 他 工 業
 ゴ ム 製 品 工 業
 家 具 工 業
 木 材 ・ 木 製 品 工 業
 そ の 他 製 品 工 業
 鉱
 (参考)
 電 力 ・ ガ ス 事 業
 産 業 総 合

(2) 特殊分類

1) 特殊分類の構成



2) 特殊分類の内容

- ・ 最終需要財 ... 鉱工業または他の産業に原材料等として投入されない製品。
ただし、建設財を含み、企業消費財を除きます。
- ・ 投資財 ... 資本財と建設財の合計。
- ・ 資本財 ... 家計以外で購入される製品で、原則として想定耐用年数が1年以上で比較的購入価格が高いもの。
- ・ 建設財 ... 建築用と土木用の合計。

- ・消費財 ... 家計で購入される製品（耐久消費財と非耐久消費財の合計）。
- ・耐久消費財 ... 原則として想定耐用年数が1年以上で比較的購入価格が高いもの。
- ・非耐久消費財 ... 原則として想定耐用年数が1年未満または比較的購入価格が低いもの。
- ・生産財 ... 鉱工業および他の産業に原材料等として投入される製品。ただし、企業消費財を含み、建設財を除きます。
- ・鉱工業用生産財 ... 鉱工業の生産工程に原材料、燃料、部品、容器、消耗品、工具等として再投入される製品。
- ・その他用生産財 ... 非鉱工業用の原材料、燃料、容器、消耗品および企業消費財。

3 採用品目

生産指数の採用品目は188品目（産業総合190品目）、生産者製品在庫指数の採用品目は120品目です。

なお特殊分類では、次の8品目について用途別構成比でウェイトを分割して、複数の系列として扱っています。

携帯電話	資本財	耐久消費財
普通・小型乗用車	資本財	耐久消費財
普通・変わり板ガラス	建設財	鉱工業用生産財
フロート・みがき板ガラス	建設財	鉱工業用生産財
ガラス繊維	建設財	鉱工業用生産財
B・C重油	鉱工業用生産財	その他用生産財
A重油	鉱工業用生産財	その他用生産財
植物油脂	非耐久消費財	鉱工業用生産財

4 指数の総合計算式

総合指数の算出は、基準時の各品目の固定ウェイトで加重平均するラスパイレス算式が使用されており、計算式は次のように表されます。

$$\text{総合指数} = \frac{\text{比較時生産量（生産者製品在庫量）} \times \text{基準時（12年）ウェイト}}{\text{基準時（12年）生産量（生産者製品在庫量）}} \div \text{基準時（12年）ウェイトの総和}$$

5 季節調整

季節調整については、米商務省センサス局が開発したセンサス局法「X-12-ARIMA」の中のX-11デフォルトを採用しています。